

## あとがき

『アジア・キリスト教・多元性』第11号をお届けいたします。

本研究雑誌は、「日本・アジアのキリスト教と宗教的多元性」研究会（略称、「アジアと多元性」研究会）の研究活動報告論文集として刊行され、本号で11号となりました。今回も、執筆いただいた方々はもちろん、ほかの研究会メンバーの方々、特に、編集担当者の全面的なご協力によって、無事に刊行することができました。この場をお借りして、お礼を申し上げます。なお、本研究論文集は創刊号より、基本的に電子ジャーナルとして刊行され、必要部数に限り、冊子体での刊行も行っていますが、現在は、研究会のホームページにおいて公開されるとともに、2008年度からは、京都大学学術情報リポジトリにも、登録されています。ご関心のある方は、ご覧ください。

2012年度の研究会の活動の詳細については、本号の「研究会の活動内容（2012年度）」あるいは研究会のホームページに記載された通りですが、例年通り、毎月一回、研究会メンバーによる研究発表会が行われました。今年度は、統一テーマというわけではありませんが、「アジア・日本のキリスト教研究の方法論的諸問題」を念頭にいくつかの研究領域について、研究発表を行いました。本研究会の研究成果を研究論集という形で出版することなどを目指して、しばらく試行錯誤を行いながら、研究会活動を進めていきたいと考えています。前回の10号の「あとがき」では、「たとえば、キリシタン研究や無教会研究といったテーマを軸にして、共同研究に近い企画も可能かもしれません。研究会メンバーからの積極的な提案を期待しております」と書きましたが、他の案を含め、積極的な提案をお願いいたします。

2012年度も、本研究会は、何人かの方々を新しいメンバーとして迎えることができました。今後も「日本・アジアのキリスト教と宗教的多元性」というテーマに関心のある方々を迎え、さらに活発な研究会にしていきたいと考えています。2012年度は、本研究会の体制を整えるという課題を意識しつつ活動を行ってきましたが、新年度最初の本研究報告論集の合評会を兼ねた4月の研究会では、この件について、具体的な提案を行いたいと考えています。現在の京都大学キリスト教学研究室での月一回の研究発表会と年度末の報告論集刊行という点については当面変更することは考えていませんが、研究会活動を安定的なものとし、さらには活動の幅を広げる、研究会メンバー以外の研究者を招いた講演会やシンポジウムの実施、あるいは共同のフィールド調査や研修会の企画など、ために、年会費や論文執筆料の設定を行いたいと思います。これに伴って、事務局（庶務や会計）の整備も必要になります。研究会のメンバーのご意見をお聞きしつつ、4月から新しい体制での研究会をスタートさせたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

研究会メンバーの動向で、うれしいニュースをお知らせします。本研究報告論集にも論文を執筆されている、徐亦猛さんが、この4月より、福岡女学院大学に就職されることになりました。今後のさらなるご活躍をお祈りいたします。また、金香花さんと洪伊杓さんが、このたび修士課程を修了し博士後期課程に進学することになりました。これから本研究会などで積極的に研究発表を行い、論文を執筆されることを期待しています。なお、前号でお知らせすべきことでしたが、楊周漢さんが、昨年4月より、折尾愛真短期大学（北九州市）に勤務されています。お知らせするのが遅くなりましたことを、お詫び申し上げます。

今後とも、本研究会のために、各方面からのご協力を賜りますよう、よろしく、お願い申し上げます。

2013年3月

研究会代表  
芦名 定道

# アジア・キリスト教・多元性

第 11 号

---

## — 論文 —

日本キリスト教思想史と方法論的諸問題 ..... 芦 名 定 道 (1)

中国の教会の宗教的儀礼と教会の建築について本色化の動き  
—1920年代を中心に— ..... 徐 亦 猛 (17)

聖書翻訳における等価概念の一側面—Godの訳語を中心に—  
..... 金 香 花 (33)

教会の保守化傾向を考える—諸宗教間対話は進んでいるか—  
..... 高 橋 勝 幸 (55)

韓国プロテスタント・キリスト教史の叙述方法論考察  
—諸史観の比較分析と研究傾向を中心に— ..... 洪 伊 杓 (77)

内村鑑三の文学観—美の契機と真の契機との観点からキリストへ—  
..... 渡 部 和 隆 (95)

## — 研究ノート —

座古愛子のキリスト教理解と信徒伝道・続—座古愛子の後期著作—  
..... 岩 野 祐 介 (115)

キリシタン研究の方法論的諸問題と比較思想の意義  
..... 狭 間 芳 樹 (129)

あとがき ..... (146)

---

2013年3月

現代キリスト教思想研究会

# ASIA CHRISTIANITY DIVERSITY

## CONTENTS

### Articles

The History of Christian Thought in Japan and its Methodological Problems  
..... ASHINA Sadamichi ( 1 )

The Indigenous Movement Concerning the Practice of the Religious Ritual  
and Church Architecture : Focus on the 1920's ..... XU Yi Meng (17)

One Aspect of the Concept of Equivalence in Bible Translation  
: Focusing on the Translation of "God" ..... Jin Xianghua (33)

Thoughts on the Tendency to Conservation of the Catholic Church  
: Has the Dialogue between the Religions Advanced ? ..... TAKAHASHI Katsuyuki (55)

A Review of Methodology of Korean Protestant Church History Studies  
: Focusing on the Comparative Study of Historical views and Current Issues ..... Hong Yi Pyo (77)

UCHIMURA Kanzo's View of Letters : From Beauty and Truth to Jesus Christ  
..... WATANABE Kazutaka (95)

### Notes

ZAKO Aiko's Understanding of Christianity and her Layperson Mission  
..... IWANO Yusuke (115)

Methodology of *Kirishitan's* Research and Significance of Comparative Religion  
..... HAZAMA Yoshiki (128)

Postscript ..... (148)

March, 2013

STUDY GROUP FOR MODERN CHRISTIAN THOUGHTS

Kyoto Japan